

第6回東京都聖火リレー実行委員会について

1. 開催日

平成31年4月5日（金）

2. 出席委員

会長：猪熊純子 東京都副知事
副会長：長友貴樹 東京都市長会会長（調布市長）
河村文夫 東京都町村会会長（奥多摩町長） ほか

3. 議題

（1）報告事項

①第5回東京都聖火リレー実行委員会（書面議決）について

- ・パラリンピック聖火リレーの検討
- ・監事等の規定を追加

②聖火リレーに関する組織委員会の公表資料について

○東京2020オリンピック聖火リレーの運営方法の概要について

- ・リレーは、聖火ランナーと十数台規模の車両からなる「聖火リレー本体隊列」により実施
- ・聖火ランナーの走行距離は1名当たり200m
- ・ギリシャの採火時から「親の火」と「子どもの火」を用意し、通常は「親の火」のみでリレーを実施するが、離島など遠隔地を訪問する際には、あらかじめランタンで運搬しておいた「子どもの火」を活用
- ・1日当たりの聖火ランナー数は、おおむね80人から90人を目安として調整
- ・聖火ランナーは1人で走行するが、リレーを盛り上げる中で、より多様で多くの方が参画できるよう今後工夫

○「復興の火」の展示場所及びグランドスタート会場について

○東京2020パラリンピック聖火リレー実施概要について

(2) 協議事項

① 聖火リレールートの方考え方について

- ・ 今後の協議方法については、区市町村や警視庁、所轄警察署と個別に相談
- ・ 東京都内の聖火リレーの走行距離：約 240km－260km

② 今後のスケジュールについて

4. 審議状況

- ・ 聖火リレールートについて、各区市町村と意見交換・実地調査を実施したことを報告した。
- ・ ルート作成に向けた今後の協議方法を議論した。
- ・ 今後のスケジュールについて確認した。

<主な発言>

- ・ 自治体にとって、聖火リレーはオリンピック・パラリンピックに参画する一番スポットライトが当たる場面。丁寧に各自治体の意見を聞いてもらいたい。

第6回東京都聖火リレー実行委員会 次第

平成31年4月5日（金）10:00～11:00

東京都庁第1本庁舎7階 大会議室

1 開会

2 議事

(1) 報告事項

- ・ 第5回東京都聖火リレー実行委員会（書面議決）について
- ・ 聖火リレーに関する組織委員会の公表資料について

(2) 協議事項

- ・ 聖火リレールートのかえ方について
- ・ 今後のスケジュールについて

(3) その他

3 閉会

東京都聖火リレー実行委員会 出席者名簿

職 名	団体名・職名	氏 名	備考
会 長	東京都副知事	猪熊 純子	
副会長	特別区長会会長（荒川区長）	西川 太一郎	欠席
副会長	東京都市長会会長（調布市長）	長友 貴樹	
副会長	東京都町村会会長（奥多摩町長）	河村 文夫	
委員	東京都オリンピック・パラリンピック準備局長	潮田 勉	
委員	警視庁オリンピック・パラリンピック競技大会 総合対策本部副本部長	小林 義明	
委員	東京消防庁企画調整部長	吉田 義実	代理
委員	公益財団法人東京都体育協会理事長	並木 一夫	欠席
委員	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会会長	白石 弥生子	
委員	公益財団法人東京陸上競技協会理事長	中野 人志	
監事	東京都会計管理局長	土淵 裕	

第6回東京都聖火リレー実行委員会

<概要>

2019.4.5

1 第5回東京都聖火リレー実行委員会（書面議決）について

＜実行委員会規約の主な改正内容＞

- パラリンピック聖火リレーの検討

パラリンピック聖火リレーを検討の対象とする。

- 監事・会計処理等の規定を追加

2019年度から実行委員会で契約手続き等を行うこととし、監事を設置、会計管理局長を任命した。

2 聖火リレールートの方考え方について

<区市町村内のルートに関する検討状況について>

- 各区市町村から提出された**希望スポット**を基に、ルートイメージを検討
- 各区市町村と打合せを行い、ルートについて**意見交換・実地調査**を実施

<今後のルート作成にあたっての協議>

- 実行委員会での議論を踏まえて、区市町村・警視庁に協議
- **今後の協議方法については、区市町村や警視庁・所轄警察署と個別に相談**

<東京都内の走行距離について>

●東京2020大会オリンピック聖火リレーの所与条件

- ①聖火ランナー 1人当たりの距離 : 約200m
- ② 1日に走行する聖火ランナー数 : 80人~90人を目安とする

東京都内の聖火リレー（15日間）の走行距離 : **約240~260 km** <東京都推計>

3 今後のスケジュールについて

2019年

引き続き、東京都聖火リレー実行委員会を開催し、以下の内容を議論

- 聖火リレールート詳細案・セレブレーションの具体的内容の検討
 - 道路利用の計画、警備実施計画の検討
 - ランナー選出計画案の策定及び公募・選考の実施 など
- これらについて、区市町村、警視庁、消防庁等関係機関と調整

今後、組織委員会より以下について夏頃までに公表予定

- 全国のオリンピック聖火リレールート
- 全国のランナーの公募の広報

2020年

- 聖火リレーの実施

4 その他

(1) 東京2020オリンピック聖火リレーの運営方法の概要について

【1日の流れ（イメージ）】



- リレー走行は、**聖火ランナーと十数台規模の車両**からなる「**聖火リレー本体隊列**」により実施
- 聖火ランナーの走行距離と時間は、**1名あたり約200m**
- 聖火については、**ギリシャの採火時から「親の火」と「子どもの火」を用意**しておき、通常は「親の火」のみでリレーを実施するが、**離島などの遠隔地に聖火が訪問する際は、あらかじめランタンで運搬しておいた「子どもの火」を活用**する。「親の火」と「子どもの火」が同時に人目に触れることはない
- 1日当たりの聖火ランナー数については、**おおむね80人から90人を目安**として調整
- 聖火ランナーは、**1人で走行**。リレーを盛り上げる中で、**より多様で多くの方が参画できるように今後工夫**

(2) 「復興の火」の展示場所及びグランドスタート会場について

東京2020オリンピック聖火リレー「復興の火」の展示場所：

- 3/20（金） ギリシャで採火した聖火が宮城県「航空自衛隊松島基地」に到着
宮城県石巻市「石巻南浜津波復興祈念公園」
- 3/21（土） 宮城県仙台市「仙台駅東口エリア」
- 3/22（日） 岩手県「三陸鉄道・S L 銀河車内（宮古駅～釜石駅～花巻駅）」
- 3/23（月） 岩手県大船渡市「キャッセン大船渡エリア」
- 3/24（火） 福島県福島市「福島駅東口駅前広場」
- 3/25（水） 福島県いわき市「アクアマリンパーク」

東京2020オリンピック聖火リレーグランドスタートの会場：

- 3/26（木） 福島県楡葉町・広野町「ナショナルトレーニングセンター」ヴィレッジ」

(3)東京2020パラリンピック聖火リレー実施概要について

ランナー：新しいパートナーシップを体現し、
原則として「はじめて出会う3人」がチームになってリレーを実施
※具体のランナー選考基準・選考方法等は、2019年秋頃に決定する予定

実施期間：8/13(木)～8/25(火)

- ・8/13(木)～17(月) (※ストック・マンデビルにおける採火式は日程未定)

各道府県(調整中)において**聖火フェスティバル**

(採火(式)・聖火ビジット(施設訪問)、出立(式))

- ・8/18(火)～20(木)

静岡・千葉・埼玉において**聖火フェスティバル**

(採火式・聖火ビジット・聖火リレー・出立式) (各1日間)

- ・8/21(金)

東京都において**聖火フェスティバル**(採火式・聖火ビジット・聖火リレー)、**集火式**

- ・8/22(土)～25(火)

東京都(開催都市)での聖火リレー・セレブレーション